

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献するコンクリート

コンクリートの材料製造に関わるCO₂排出量のうち、90%以上がポルトランドセメントの製造時に排出されます。

「T-eConcrete」はセメントの一部またはすべてを産業副産物やカーボンリサイクル製品に置き換えて、CO₂の排出削減やCO₂収支のマイナスを実現します。

【環境配慮コンクリート「T-eConcrete®」シリーズ】

● 建築基準法対応型

セメントの代わりに高炉スラグ（製鋼から生じる産業副産物）を使用します。建築物の建設に適しています。

● フライアッシュ活用型

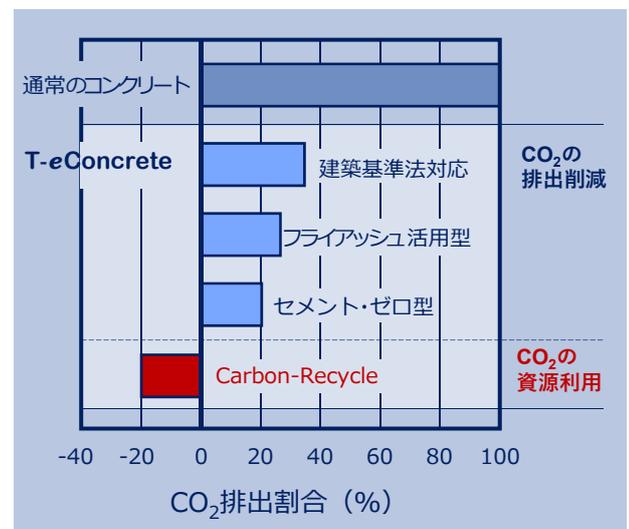
セメントの代わりに高炉スラグとフライアッシュ（石炭灰の一種）を使用します。発電所など容易に石炭灰を入手できる場所での使用に適しています。

● セメント・ゼロ型

セメントを使用せず、高炉スラグを特殊な反応剤を用いて固めます。CO₂排出削減を極めたコンクリートです。

● Carbon-Recycle

セメント・ゼロ型に炭酸カルシウムなどカーボンリサイクル製品を加えて製造したコンクリートです。CO₂収支マイナスを実現します。2030年のリサイクルシステムの確立を目指しています。



【T-eConcrete®研究会】

当社は本研究会の基幹企業として、これまで蓄積した材料や施工に関する豊富なデータやノウハウなどの情報を商品開発担当の参画企業に提供し、各企業が自社製品の製造技術と融合させることで、多様な商品開発を行います。

【T-eConcrete® / セメント・ゼロ型の適用事例】

● 現場打ちコンクリート



土間コンクリートへの適用

● コンクリート製品...「T-eConcrete®研究会」による普及

土木構造物



シールドトンネルセグメント

ボックスカルバート

T-razzo® / 石材調建材



外階段、エントランスへの適用